

新見市教育委員会 8月定例会 会議録 【 公 開 用 】

1 日 時 令和5年8月16日(水) 午後3時30分から

2 場 所 新見市役所南庁舎 3階会議室3A

3 出席委員の職・氏名

教 育 長	正 村 政 則
職務代理人	松 井 健 一
委 員	溝 尾 妙 子
委 員	長 谷 川 綾

4 欠席委員の職・氏名

委 員	三 上 ゆ み
-----	---------

5 説明のため出席した者の職・氏名

教育部長	山 縣 晴 美
教育総務課長	谷 本 隆 之
学校教育課長	黒 川 一 豊 海
生涯学習課長	木 下 正 雄
教育総務課庶務係長	泉 朋 子

6 記 録

午後3時25分 着 席

(令和5年8月16日(水) 午後3時25分から午後4時45分)

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 前会会議録の承認

谷本課長 (新見市教育委員会 7 月定例会会議録について、開催日時等を読み上げて説明する。)

正村教育長 前会会議録は承認と決めます。

4 教育長報告

正村教育長 (前会の教育委員会以降の主な行事、会議等について報告を行う。)

5 事務局報告

各事務局員 (教育部長、生涯学習課長、学校教育課長、教育総務課長の順に報告を行う。)

6 議 事

議第 3 7 号 令和 6 年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択の承認について

正村教育長 それでは 6 の議事に移ります。
議第 3 7 号の説明をお願いいたします。

黒川課長 議第 3 7 号 令和 6 年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択の承認について説明をさせていただきます。

委員の皆様方には、7 月から 8 月にかけて、南庁舎でおこないました令和 6 年度使用教科書の見本の閲覧、そして 8 月 7 日におこなわれました第 1 回教科用図書採択市教育委員会協議会へご出席いただきましてありがとうございました。お陰をもちまして、令和 6 年度高梁新見地区で使用する教科用図書が採択されました。お手元の資料 1 ～ 3 ページが小学校で使用するもの、4、5 ページが中学校で使用するもの、そして 6 ページが、小中の特別支援学級で使用するものとして目録にまとめております。つきましては、今一度報告をご確認いただきまして、本市教育委員会として採択をご承認いただきますようお願いいたします。

以上です。

正村教育長 ちょっと時間をとりますので、見ていただければと思います。

(閲覧の時間)

のを書かせていただいたんですけど、三つ目の全体というところに、「4項目構成になっているが、情報モラル・リテラシー教育、情報セキュリティ教育についての記述が必要ではないか」ということで、総括欄のところに書いていただいています。ここで私が言いたかったのは、4つの構成になってるけれども、もう1つ情報モラル教育といったようなことについて取り組む「事業実施目標」それから「主な取り組み状況」それから「成果と課題」のところにもまず記述があって、その上で「総括」に簡単にこういう形で触れていただければ、というふうに思っていました。というのが、令和4年度の新見市の教育に、大きくICTの中に項目を取り上げて、モラル教育等について記述があるんですよ。しかもそれは児童生徒に対する指導として非常に重要な部分だというふうに認識をしています。特に児童生徒の生活時間の組み立て方ということも含めて、その家庭での使い方等も含めて、リテラシー教育、モラル教育というのが必要なのではないかという認識で、新見市の教育も書かれていると思うので、そこはもう1項目必要なんじゃないかなというのが私の認識で、そういうふうに書かせていただいています。今、総括のところに付け加えていただいたのはもうこれでいいと思うんですけど、なんとかその項目が入るかなと思って、この修正案に対する対応を見させていただきました。

もう1点感じたのが、資料の2ページ目の⑩の項目ですけど、「放課後児童クラブの支援」の項目「成果の課題」のところで、これはもうここに対応していただく通りでいいと思うんですけど、先日山陽新聞に放課後児童クラブの岡山市の実態について、大きく一覽を設けて、報道がされていました。放課後児童クラブ版待機児童が岡山市で非常に増えているということで、それに対する対応について、新見市でも指摘がありますけど、その支援員とか人材確保も今後重要であるというようなことで、それに対して岡大の先生が民間力を活用していくことも今後重要なのではないかというふうな提案をされております。そして、たまたま昨日の山陽新聞の経済の欄に、OSKが敷地内に放課後児童クラブ用の建物を建てて、西文明堂の周知とか、ベルリッツの英会話だとか、そういったようなものを合わせて来年度から指導ができるようにしていくんだというようなことがあって、民間力の活用という岡大の先生が言われたことをもうあらかじめわかっていたかのような発表なんかもあったりしました。これは報告書の記述そのものというよりそれに対する質問ですが、本市の状況として、そう言った使いたいけれども使えない待機児童数があるのか、それから、必ずしも全校に児童クラブがあるとは限らないと思うんですけども、入りたい希望を叶えられない児童がどれぐらいいるのでしょうか。詳しい数は今求めるわけじゃありませんが、あるのかなというのがちょっと気になったものですから。

黒川課長

待機児童については、現在おりません。2年前ですか、思誠小学校にスリーピースという放課後児童クラブが立ち上がったんですが、それまではのびのび児童クラブとこどもリパブリックの2箇所しかなかったもので、なかなか高学年の子を受け入れてくれるところが少ないなというところで待機というような形がありましたが、今はスリーピースという施設が開設されて、改善されております。

山縣部長

やはり指導者の確保というところが本市でもすごく問題になっています。高齢化もしていますし、恒久的に放課後児童クラブ自体のニーズはすごくあるので、恒久的に設置していくということに対して指導者の確保というところはすごく問題で、新聞にも出ていたけれど、処遇改善であるとか、そういったことも含めて、国への要望は今回もしているところなんですけど、民間の活力と言いましても、なかなか民間も利益がないと入ってきてくれないので、この過疎地に入ってきてくれるかというのちょっと考えられないので、岡山市の直営というところも途中から返還されていますので、そういったことも含めながら、ニーズに対応できるように体制を整えて、国への要望も含めてしていかないといけないなと、喫緊の課題だなと思っているところです。

正村教育長

大都市では指定管理へ任せていたりしますが、新見で手を挙げてくれる所があるかと言うとなかなか難しいところがあるかもしれません。

松井職務代理者

新見に待機児童が無いというんだったらそんなに深刻に捉える必要はないのかもしれませんが。

正村教育長

子供の数が減ってるのに需要はあります。普通はどっちも減っていくところですけど、子供の数が減ってるのに需要は逆に多いぐらいです。だから、本当にまだまだこれから先も、子供の数は少しずつ減るかもしれないけど需要だけは、当分あると思います。待機児童がいないように努力をしなければいけないのと、それからそこへ働きに来てくださる方が、喜んで来ていただけるような処遇改善を国にも働きかけをしないといけないということです。

今のところはよろしいでしょうか。

松井職務代理者

はい。

正村教育長

リテラシーのところについて、事務局の方から何かありますか。

黒川課長

今総括に足した箇所の上のところは4項目ありますが、このプログ

ラミング教育の導入というところと教職員研修充実の間に1項目設けてさせていただこうと思います。

松井職務代理者

そうしていただけたら一番いいかなと思います。

正村教育長

私も今改めて見直したんですけど、AIがどのと言われる時代になってきましたから、やっぱりそういうリテラシーとかモラル教育をしていかないと本当に大変な、変な使い方になってしまうので、必要な部分だと思います。

谷本課長

事務局の方で直して皆さんにそのページだけを確認していただきたいと思います。

正村教育長

松井先生それでよろしいでしょうか。

松井職務代理者

結構です。

正村教育長

訂正があるところについて、皆さんにメールで送らせていただきますので、また見ていただいて、個々に返事をいただきますか。

谷本課長

そうですね。そこだけ直してOKであれば、外部評価へ出させてもらったと思うんですけど。

正村教育長

では、時間的なこともあるので、新しく修正したものを送らせていただくということではよろしいでしょうか。

各委員

はい。

正村教育長

それでは、外にご意見ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

各委員

(はいの声)

正村教育長

では、今の項目を付け加えるところを除かしていただいて、あとの所については承認ということではいかせていただいてよろしいでしょうか。

各委員

(はいの声)

正村教育長

それでは、協第7号は承認といたします。

報第17号 令和5年度学校訪問について

正村教育長

次に、報第17号の説明をお願いいたします。

黒川課長

それでは、報第17号 令和5年度の教育委員学校訪問について、前期の実施報告させていただきます。資料1ページから5ページをご覧ください。

委員の皆様には、6月7日の神代小学校から7月11日の草間台小学校まで計9校を訪問していただきました。訪問の様子について概要をまとめておりますので、この後もしよろしければ、1校ずつ委員の方からのご意見、ご感想をいただければと思っております。

また後半となりますが、後半は9月27日から11月25日までの日程を予定しており、事務局の方で一覧表が完成し、起案をしている最中でございます。早ければ来週早々にも委員の方々に、どこの学校行っていくかということをお示しできるかなと思っております。なお、前回ご意見をいただきました、5クラス以上ある学校の授業参観コマ数については、2コマの授業参観に昨年同様変更するという事で、校長の方にも指示をおろしておりますので、お知りおきください。

以上です。

正村教育長

では、委員の皆さんに1校ずつコメントをお願いしたいと思いません。松井委員から大佐中学校をお願いします。

松井職務代理者

大佐中学校は生徒の実態に合わせて、先生方が工夫をされて指導されてるなあという印象を受けました。そういう意味では、その成果がどう出てくるかというのを見守っていく、という言い方はおかしいかもしれないけども、これからそういうことになっていくのかなという感じを持ちました。

少し、学習に向かう姿勢が乱れている生徒もおりましたが、頭ごなしに指導してもなかなか難しいだろうなというふうに思っていましたけれども、担当の先生が注意の仕方なんかもうまく、直接的に頭ごなしに言ってるんじゃなくて、ちょっと気を引くような形で注意をされていて、そうすると直っていくというようなところなんかも見せてもらって、工夫をされているんだろうなと感じました。

それから、一番上の「面談」のところにも書いてありますけども、「いいねカード」なんかで学校全体の雰囲気を盛り上げてやっていこうというような雰囲気を感じられて、その点は良かったかなというふうに思います。

大佐はこれから小中一貫校としてやっていくわけですから、6年間、一貫した学習に向かう態度というか、意欲というか、姿勢も含めて、考えて指導していくということが、これから一つの課題になって

いくのかなというような印象を受けました。

正村教育長

ありがとうございます。

確かに小中一貫校になりますので、やっぱりそれなりにいい意識を持って先生方にも取り組んでいただきたいので、黒川課長さん、そういう今のご意見をまた、校長の方にも伝えていただければと思います。

黒川課長

ありがとうございます。

正村教育長

では、矢神小学校を長谷川委員さんをお願いします。

長谷川委員

矢神小学校で渡りの授業を見ることができました。

4年生は3年生が授業している間は自分たちで司会をして発表したりがうまくできていて、それを今後は3年生にももっと子供たちに預けて司会をしたりのがついてくると、渡りの授業の効果がより出てくるのかなというのを言われていました。

今後、兵庫県の小学校で渡りを熱心に行っているところがあるので、そちらに研修に行かれるということで、さらにいい授業になるのではないかなと期待しています。

正村教育長

ありがとうございます。

渡りの授業は今塩城小学校にも去年からしていただいているんですが、別にしなくても加配の先生がいるので、別々に授業できるんですけど、子供たちの伸びとか先生方の技量を考慮して、もしよければやってみたらってということで、あえてやっていただいたら、今年も手応えがあったようです。教室には2人の先生がいるんですけど、もう一人の先生は補助に回って、T1 T2の状態です。ネガティブに考えたら、複式学級は大変だと思うかもしれないけど、生かして強みに変えていくとか、苦労はあるんですけど、苦労するがゆえに、何かこう人間的に伸びるとか、心の面で伸びるとか、上下関係を上手くやっていくとか、だからそういう面で渡りの授業は伸びしろがあるので、矢神もそうやって取り組んでいます。別に押し付けるんじゃないで、いいところ取りをして、いけなかったらまた戻していけばいいと思っています。

ありがとうございます。

それでは次、哲西中学校を松井委員さんをお願いします。

松井職務代理者

哲西中学校は、1年の道徳と2年の保健体育は、初任者と3年目と言われたと思いますが、非常に若い先生方で指導されていましたが、いろいろな工夫をされながらしているように感じました。

特に1年生の道徳を観させていただきましたけど、初任者の方でした。担当は数学ということでしたけれども、なかなかうまく生徒の反応を引き出しながらやっておられたのと、それから小学校道徳の研修にこれから出ていったりするんだというような話をされていて、私は非常に意欲的でいいことだなと、自分は中学校の教員なんだからという所に留まらないで、小学校でどういうふうな指導をされてるんだろうかということを実地に知って、それをまた自分の指導に生かしていくという、そういう若い先生の意欲のある学びというか、先生のそういう研修姿勢など見させてもらって非常に頼もしく感じさせていただきました。

それから3年生の英語は、これは今度再任用というか、ベテランの先生が指導されていましたがけれども、非常に活発に生徒同士もやっていて、後で聞いた話なんですけど、哲西中学校は英語の成績が市内でもずば抜けていいんだというような話を聞いたので、そういうところが地区だけの特性に留めておくのはもったいないので、全市化できていけばいいのかなというふうな印象を持ちました。

以上です。

正村教育長

ありがとうございました。

特に道徳について、ちゃんと授業で意見が出てるのはなかなか素晴らしい授業作りができるのかなと思います。

それから確かに哲西は英語がいいですね。やっぱりそういうのが授業に出てくるのかな。

はい、ありがとうございました。

では続いて、野地小学校を松井委員さんお願いします。

松井職務代理者

野馳小学校は、私としたら哲西地区の大きい学校というような印象だったのが、ついに野馳小学校でも複式かなという感じになってしまって、まず最初に驚いてしまいました。矢神が小さくなったというのは前々からそういう認識を持っていたんですけども、野馳は若い住人が多いというふうに聞いていたのが、ついにそうなってしまったのかと。となると、これからの哲西地区が、哲西中学校も含めてですけども、ちょっと規模が小さくなって行って、そっちが心配だなというような印象を持ってしまいました。

授業の様子は建物の作りの問題があるんでしょうが、教室が非常に明るくて、生徒の雰囲気も明るくて、学習活動が活発にできているという感じがしました。心配していた複式についても、人数が複式だと言いながら3年4年で13人ぐらいですかね、ちょっとそういう意味では複式というよりは、一つの仕事の工夫ということで個々の授業をされていましたけれども、同じ内容でされていたので、結構よかったかなというふうな印象がありました。

それは渡りというのとは逆なんですよね。同じ内容で2学年するというのがね。そういうような指導もあって、よかったなというふうに思いました。

正村教育長

ありがとうございます。
哲西地区は、ものすごく褒められますね。
それでは、続いて新見第一中学校を長谷川委員さんお願いします。

長谷川委員

1、2年生はとても元気よく発言ができていました。
3年生の中にちょっと雰囲気重いクラスがあつて、同じクラスを2限分観させていただいたんですけど、同じクラスでも先生の教える雰囲気で大分クラスの印象が変わるなという印象でした。
クラスの雰囲気を左右する子が各クラスに1人はいるということで、その子をいかに授業にのめり込ませるかという技術が必要になってくるというのを校長先生もおっしゃっていました。
あとは、共同学習に力を入れているということだったので、グループ学習もよくされていたんですが、中には真面目に取り組みたい子とそうではない子が同じグループになっていたり、ちょっと悪い影響が出ているんじゃないのかなというグループもあったので、座席の配置にも気をつけなければいけないということとか、グループにして席をくっつけているけど、調べ学習をしているだけとか、グループにする必要はあまり感じられない共同学習も見られたので、そういうところがちょっと気になりました。
あとは学校環境の面で、廊下がちょっと暗いっていうのを先生が言われていたのと、教室のエアコンが灯油で冷水を循環させるタイプのもので、あんまり涼しくないっていうのを言われていました。電気で動く音楽室の涼しさと全然違うっていうのも、かなり訴えられていたので、可哀想だなと感じました。
英語の授業でALTの先生が2人ついていらっしゃったので、すごく近くでネイティブの発音で各グループが直に会話してもらえっていうのすごく魅力的だなと感じました。新任の先生がその担当の先生だったんですけど、さっき言ったように、ベテランの先生は英語の授業では日付も全部英語で書かれてるんですけど、新任の先生は板書が結構日本語が多かったりしたので、もっと英語が目に触れるようにしてもいいのかなというのを感じました。

以上です。

正村教育長

ありがとうございます。
一中はいろんな子供がいますので、長谷川委員さん言われるように、いい意味で目につく、ムードメーカーの子は、担任の先生と心が繋がればクラス全体の雰囲気が変わりますからね。まさしく言われる

通りだと思えます。

ありがとうございました。

最後になりますが、草間台小学校を溝尾委員さんお願いします。

溝尾委員

草間台小学校は小規模な学校で、どんな学校かなとすごく興味を持って行ったんですけど、本当に小規模ならではで、先生がすごく児童一人一人に手厚くされてると言うか、よく見ているなと思いました。

授業内容は、かさを測ってくれとか、そういう体験するような学習をベテランの先生がされたりして、すごくいい授業だなと思いました。

田舎だけど、すごく若い先生も頑張っているなという印象で、それにベテランの先生が付いておられました。教頭先生はいろいろ話してくださったんですけども、すごい小規模なんだけど、ギフテッドみたいな子もいるんだよってという話があったのが印象的でした。しっかり児童のことを見ているなと思ったのと、そういう子でも、こういう田舎だからこそ、ちゃんとやっていけるんだという事を言っておられました。

あと、丁度もともとアメリカにいて、日本にちょっと帰ってきた逆留学みたいな感じの子がいて、いろいろ家族の話とかを道德の授業でする場面があって、小さい小学校なんだけれども本当に資源をフル活用して、授業にいい影響が出るような活動をされているなと思っていました。

あと私は、すごく複式のことを気になって行かせていただいて、不利な事がないかなと思っていたんですが、そういうことは全くなくて、2年間でちゃんと履修できるようにして、中学校へ行ってからも問題ないというふうに言っていたいたんですけれども、私自身の子供が複式になってちょっと不安だなというのがあって、そういう不安を抱える保護者は結構いるんですね。私自身はちょっとそれを聞いて大丈夫だなと安心したんですけども、これから複式になったら、こういうメリットがあるよ、とかというのを伝えられたら、保護者の方は安心するのかなと思いました。

以上です。

正村教育長

ありがとうございます。

黒川課長、今度の校長会で複式の良さを保護者の方に伝えるという事が必要だという事を言ってください。確かに単式だったのが複式になると不安があるので。昔からずっと複式の学校は保護者の方も慣れてきていると思うんですけど、新たになったところとか、なって2年ぐらいの所は特に、悪いことばかりじゃないですよっていうことを伝えるように言ってください。

ありがとうございました。

今一通り皆さんからご意見を聞かせていただいたんですが、外に全体を通して何かありますでしょうか。

ないようですので、以上で本日の議事を終了いたします。

7 閉 会

正村教育長

8月定例教育委員会をこれで閉会します。

長時間ありがとうございました。

(閉会時刻)

(午後4時45分)